

場リスタ 講座 ②

NEWS LETTER ②

12月7日(日)の午後、地域交流センターにて、「まちづくり楽校2025」の第2回を開催しました。参加者は、事務局スタッフ含めて17名でした。

「居場所づくり」をテーマにした連続講座2日目のテーマは、「発想のコツ」。前回のふりかえりやアイスブレイクのあと、アイデアの発想法について学び、ひとり一人が居場所づくりのアイデアを書き出しました。その後いろんな人と3人1組の対話を繰り返し、お互いの案を刺激し合ってブラッシュアップ。

とっておきのアイデアをスケッチしたシートを全員で見て回って投票し、最後に上位4名からアイデアレビューをしてもらいました！

DAY2 発想のコツ（アイデアソンに挑戦！）

1. アイスブレイク

この日のアイスブレイカー＝まみちゃん。リズムに合わせグー・チョキ・パーを出すゲームで、頭も体もほぐれました！



2. プチレク「発想の技術」

ファシリテーターの TAKEZO から、「発想法」のヒントを紹介するレクチャーがありました。

バイアス 私たちは知らず知らずのうちに常識やバイアス（偏見）に縛られて、最初に思いつく案は驚くほど凡庸であることが多いです！

独創的な案を生み出すにはとにかくアイデアを出して、出して、出し尽くすことが大事！



ブレインストーミング（ブレスト） 量が質を規定します。まずは案をたくさん出して、考え方の幅を広げてみよう！ブレストは、脳の中で嵐を吹かせるように発想していく手法のこと。コツは①質より量！②笑いや奇抜さ重視！③横取り・相乗り大歓迎！ですよ。

発想法 スキャンパー 「SCAMPER法」

代用する、組み合わせる、応用する、修正する、転用する、削ぎ落とす、再構成する…アイデア出しに困ったら「スキャンパー法」も効果的！



3. アイデアソン※「ちいさな居場所づくりプロジェクトを提案せよ！」

他市町の居場所づくりの事例紹介を聞いたあと、自分たちが主体となてできそうな居場所づくりについて、ひとり一人思いついたアイデアを書き出しました。

そのあと、3人1組になって互いのアイデアを紹介し合い、途中で2回メンバーチェンジしながら、さらに意見を交わして熟成されたアイデアを、各自が1アイデア1シートに表現。最後に全シートを見て回り、投票しました。

※「アイデア」と「マラソン」を組み合わせた造語。特定のテーマについてアイデアを出し、競い合うプロジェクトのことです。



プレイズファースト

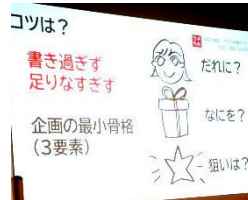
褒められると脳が活性化してアイデアが出やすくなる！感じたことや素朴な疑問を口に出し合うことで、アイデアが広がることも…

ひとりブレスト
アイデアを箇条書き

3人ブレスト×3ラウンド
3人1組でアイデアの雑談

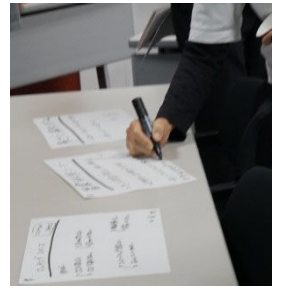
アイデアスケッチ

いろんな人との雑談を通して、磨き上げたアイデアを、ひとり一人が1アイデア1シートに表現。



投票 (ハイライト法)

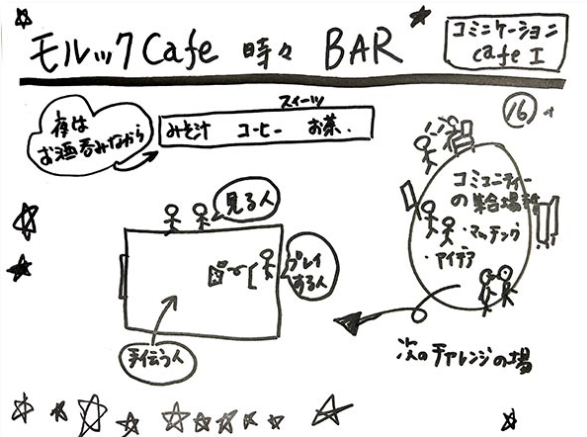
机に並べられたアイデアスケッチを全て見て回って、いいな!と思うアイデアに★をつけて投票し、良案を抽出。



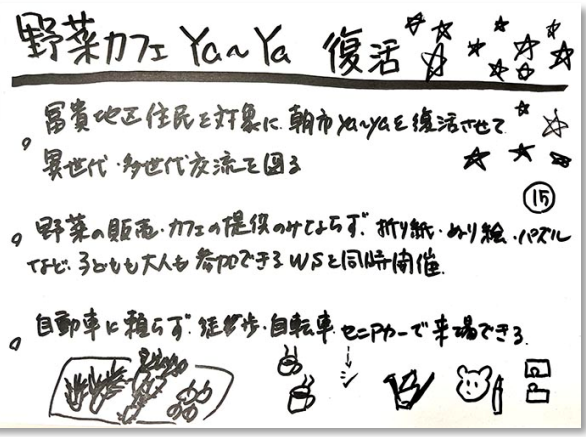
4. アイデアレビュー

得票数 (★の数) の多かった上位4人が、アイデアの紹介をしました!

1位



2位



さやかさん

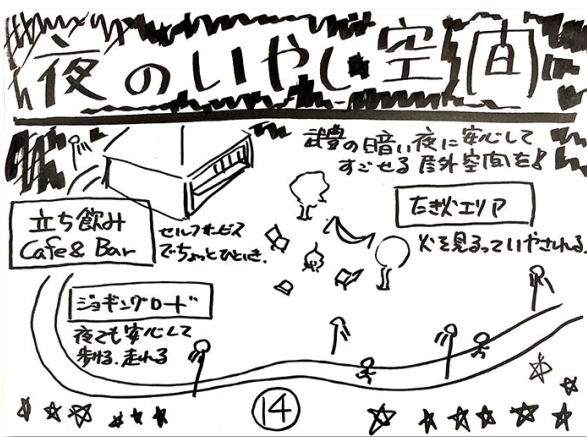
昼はカフェ、夜は BAR になるコミュニケーション・カフェ。モルックは老若男女、言葉が通じなくても、障がいがある人もできる。味噌汁などが飲めるスタンドがあって、いろんなボランティア団体とかコミュニティが情報交換、マッチングできる場になれば!

協働のまちづくり連続講座の第1期生の時に発案し7~8年続いた「野菜カフェ Ya~Ya」。コロナの時に終わっちゃったんですが、復活させたい!子どもも出てくれる時間帯に開催し、一緒につくったり、いろんな体験ができる場にしたい!

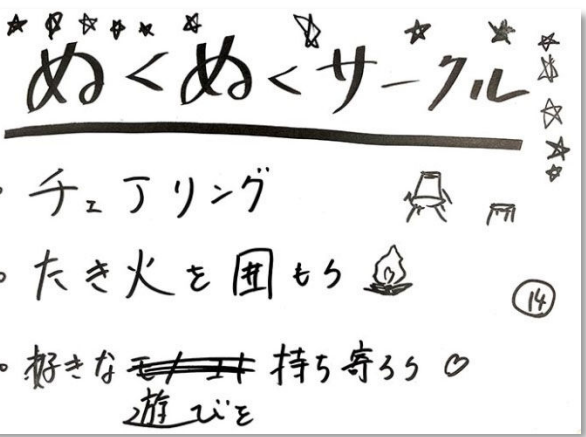


やーやん

3位



3位



けん

安心して過ごせる屋外空間を作りたい! 中央の焚き火エリアに自分の椅子を持ってきたり、ハンモックをつけたりして火を見て癒されたい。帰宅前にセルフで立ち飲みできたり、歩いたり走ったりもできる空間を作れたらいい!



みらい

好きな遊びを持ち寄って、多世代みんなで焚き火を囲んで遊べる場所があったら!

みんなの共感を集めるトップアイデア以外にも、上位55%にはイノベーションの芽が隠れていると言われています!



ひとことアンケートより (気づいたこと・発見したこと)

アイデアソンを初めてやってみて、他の人の素敵な意見を知れたり、自分の意見に自信が持てたり、すごい有効な方法だと思いました! / 他のアイデアからインスピレーションを受けた / それぞれ色んな居場所づくりのアイデアがあって、地元で何かできることはないのかという思いが強まった / 世代間等の意見の違いこそが今後の参考となることを認識できた。毎度のことながら大変有意義な場、時間でした / アイデアはどんどん出していきたいと思いました! ほか

お問合せ

武豊町企画部企画政策課

電話: 0569-72-1111

✉: kikaku@town.taketoyo.lg.jp